

3. 経理処理の実際（仕訳例）

ここに記載の仕訳例は、「平成 23 年社会福祉法人会計基準」のもとにおける一例を示したものであり、事業所によっては異なる処理を行っている場合がありますので、ご注意ください。

以下の処理では、退職給付引当金は「退職給付引当資産、退職給付引当金共に掛金累計額で計上する方法」（注 1）によって処理しています。

（注 1）この処理方法は、「社会福祉法人会計基準適用上の留意事項（運用指針）20 新たに導入した会計手法とその簡便法について（2）退職給付会計 ウ 都道府県等の実施する退職共済制度の会計処理」の簡便法による処理方法の 1 つです。

設例 I

1 会員掛金徴収時の仕訳

会員掛金は、事業主（事業所）において、給料支払時等に徴収します。

例）4月1日付けで採用した職員（標準給与月額 150,000 円）が 10 名在籍している事業所で、10 人分の本人分掛金（4 月分）を徴収しました。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
A	現金預金	① 46,500	預り金	② 46,500

・ A の仕訳は貸借対照表に反映

～ 元 帳 ～

現金預金					
日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	預り金	①46,500			
		46,500			

預り金					
日付	借方	金額	日付	貸方	金額
				現金預金	②46,500
					46,500

2 掛金送金時の仕訳

事業主掛金は、退職給付金の財源として共济会に積立てる（運用）ものである
るので、共济会に納入するとともに、施設（団体）の資産（固定資産「退職給
付引当資産」）として計上します。

例) 5月中旬に共济会から4月分掛金の納付書が送付され、法人負担分の共
済会掛金10人分46,500円と会員負担分の掛金（預り金）46,500円の合計
93,000円を4月分掛金として共济会へ送金しました。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
A	退職給付引当資 産	① 46,500	現金預金	③ 93,000
B	預り金	② 46,500		
C	人件費 -退職給付費用	④ 46,500	退職給付引当金	⑤ 46,500
D	積立資産支出 -退職給付引当資産支出	⑥ 46,500	支払資金	46,500

- ・ A、Bの仕訳は貸借対照表に反映
- ・ Cの仕訳は貸借対照表と事業活動計算書に反映
- ・ Dの仕訳は資金収支計算書に反映

～ 元 帳 ～

現金預金					
日付	借方	金額	日付	貸方	金額
				退職給付引当資 産	③ 46,500
				預り金	46,500
					93,000

退職給付引当資産					
日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	現金預金	①46,500			
		46,500			

預り金					
日付	借方	金額	日付	貸方	金額

現金預金	②46,500	
	46,500	

退職給付引当金

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
				退職給付費用	⑤46,500
					46,500

退職給付費用

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	退職給付引当金	④46,500			
		46,500			

退職給付引当資産支出
(資金収支計算書)

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	支払資金	⑥46,500			
		46,500			

3 期末決算時の仕訳

* 退職共済掛金の未払金計上処理

3月分掛金は、4月に納入することになるので、事業主分の掛金は未払金として計上します。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
A	退職給付引当資産	① 46,500	未払金	② 46,500
B	人件費 -退職給付費用	③ 46,500	退職給付引当金	④ 46,500
C	積立資産支出 -退職給付引当資産支出	⑤ 46,500	支払資金	46,500

- ・ Aの仕訳は貸借対照表に反映
- ・ Bの仕訳は貸借対照表と事業活動計算書に反映
- ・ Cの仕訳は資金収支計算書に反映

～ 元 帳 ～

退職給付引当資産

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	未払金	①46,500			
		46,500			

未払金

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
				退職給付引当資産	②46,500
					46,500

退職給付引当金

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
				退職給付費用	④46,500
					46,500

退職給付費用

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	退職給付引当金	③46,500			
		46,500			

退職給付引当資産支出
(資金収支計算書)

日付	借方	金額	日付	貸方	金額
	支払資金	⑤46,500			
		46,500			

4 事業主掛金累計額の資産計上金額の照合

毎年3月末日現在の事業主掛金累計額(2月分掛金までの累計額)を、3月下旬に共済会(事務委託契約銀行)から通知される「退職金基金資産残高通知書」により確認し、同日現在の貸借対照表(退職給付引当資産・退職給付引当金)にて、照合します。

まず、退職給付引当資産を照合します。

退職給付引当資産残高を足し込み照合します。

(基準日:平成〇〇年3月31日)

「退職金基金資産残高通知書」の金額	511,500 円
3月末払計上金額	<u>46,500 円</u>
合計(貸借対照表記載金額)	<u>558,000 円</u> ----- イ

次に、上のイの金額を退職給付引当金の貸借対照表の記載金額と照合します。

注意! 3月末現在で発行される「退職金基金資産残高通知書」は、3月末までに納入される額(=2月分掛金)までの累計額となります。